

令和4年度学校評価書

韮崎市立韮崎東中学校

『令和4年度学校評価計画』

【自己評価】

教職員による学校評価アンケート

前 期 令和4年 7月 6日～ 7月20日

無記名・評定尺度4段階・一部記述式・単純集計

【回答者数 33名】

後 期 令和4年12月 7日～12月10日

無記名・評定尺度4段階・単純集計

「Googleフォーム」を活用 【回答者数 31名】

【学校関係者評価】

実施日 令和5年2月9日（木）

評価者 学校評議員（5）

（参考アンケート）

（1）保護者アンケート 令和4年11月25日～12月3日

無記名・評定尺度5段階（E：わからない）

「Googleフォーム」を活用 【回収者数 303名】

（2）生徒アンケート 令和4年12月 7日～12月10日

無記名・評定尺度4段階

「Googleフォーム」を活用 【回収者数 330名】

『回答方法および数値について』

後期評価より、職員・保護者、生徒とともにインターネット環境を利用した「Googleフォーム」を活用しアンケートをおこなった。

- (1) 各項目についての評価は（ A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない ）の4段階から該当すると思う段階（A・B・C・D）の1つに○印を付けて回答している。
- (2) 参照として付けた、保護者アンケート結果、生徒アンケート結果については、全校からの回答割合を%数値で表記してある。
- (3) 表中の a v g. は、A～Dを各4～1点として、平均として表した数値である。平均として2.5ポイントが目安となる。
(E：わからない については点数化していない)
- (4) 前期比、前年比欄は、このa v g. を前期（本年度7月実施）と比較したもの、前年（昨年度11月実施）と比較した数値である。

令和4年度 自己評価(後期)

1 「そう思う」というイメージが高かった(平均が高かった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
14	健康診断(生徒)は事前指導、事後指導が適切に実施されている。	3.5	0.2	0.0
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎毎日の健康観察や生徒の訴えに的確に対応することができた。			
改善	◎今後も生徒の実態に即して適切に推進していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
16	授業時数管理を適切に行い、年間指導計画を遅滞なく実施している。	3.5	0.3	0.1
	課題・意見			
	行事等で時間割に変更があつても学級ごとの時数にはほとんど偏りが見られない。			
	自分の教科は順調に進み、調整できていると思う。			
総括	◎計画的な回復授業の実施と教務主任による時数管理により遅滞なく実施することが出来ている。			
改善	◎今後も年間計画に沿って適切に管理していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
25	読書活動は効果的に計画・実施されている。	3.5	0.1	0.0
	課題・意見			
	朝読書に取り組んでいる。			
	朝読書、一斉読書、読み聞かせ、親子読書など、バラエティに富んだ実践が行われているため。			
総括	◎慈愛の時間を中心に適切な読書指導が出来ている。			
改善	◎今後も年間計画に沿って適切に指導していく。			

2 「そう思わない」というイメージが高かった(平均が低かった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
26	家庭学習を支援する手立てを行っている。(改善項目②)	2.9	0.1	-0.1
	課題・意見			
	自習学習ノート指導、テスト取組表などにより、指導が行われている。			
	担任が指導している。また、教科でも課題を出している。			
	端末の持ち帰りができるところを望む。			
	自主学習の確認程度で内容の改善に関わる助言などに時間を割くことができていない。			
	やらせるだけの自主学を担任がチェックするより、各教科で効果的な家庭学習を指導する方がよいと思う。			
	自主学習の目的の共通理解がない。			
	自主学習ノートもただやらせているだけになっているため。			
	自主学習など、やる生徒とやらない生徒の差が大きい。			
総括	◎前年度より0.1増加した数値、前期より-0.1減少した結果となった。また、生徒の数値は3.1であるが保護者の数値では2.7と家庭内の意識のずれが見られる。そして、どちらも昨年度よりは低い数値を示している。			
改善	◎家庭学習については幼少時からの習慣が大きく影響してくると考える。課題(宿題)の与え方、自主学習の取り組み方法など、発達段階に応じてどのように指導していくかを課題に来年度も継続して取り組んでいきたい。			

参考資料
生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
11	あなたは、家庭で毎日勉強していますか。	3.1	3.2	

保護者アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
7	お子さんは、家庭で毎日勉強していますか。	2.7	2.9	

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
36	PTA活動推進のため、教師・保護者が積極的に関わっている。	3.0	0.0	-0.2
	課題・意見			
	取り組みの機会は少ないが、合唱発表会等で協力できている。			
	本年度は、感染症対策を取りながらも、昨年度より出来ることが増えたと思います。			
	コロナ禍で実施できないことが多かった。(2)			
	PTA活動推進という概念そのものが必要かどうか疑問を感じる。			
総括	◎新型コロナウィルス感染症の影響で実施することができないものもあった。			
改善	◎感染症対策を講じながら、PTA活動の趣旨のもと子どもたちのために可能な限りのPTA活動を行っていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
40	レベルアップ学習は効果が認められる。	2.8	0.0	-0.2
	課題・意見			
	生徒の意識は高まっていると思う。			
	家庭学習が身に付いていない生徒への対応ができている。			
	生徒にとっては、質問等ができる機会となっている。しかし、日常的に質問できるようなゆとりもほしい。			
	した時としない時の違いが見えない。			
	レベルアップ学習の内容の工夫をすべきと感じるため。			
	指導要領が改定され、どの教科においても内容が増えているため、授業を優先してほしい。			
	悪い取り組みではないと思うが、直前の授業を削られる方が痛かったりすることも。			
	とてもレベルアップするための時間・活動になっていないから。			
総括	◎昨年度と同値を示しているが、今回のアンケートの中でも一番低い結果となっている。しかし、毎年生徒アンケートでは高い数値を示している。			
改善	◎来年度の教育課程を編成する上で、目標とする効果、取り組み内容、時間などについて生徒のニーズに合わせて検討したい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

参考資料

生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
16	テスト前のレベルアップ学習は役に立っていると思いますか。	3.6	3.6	

3 昨年度同期と比べイメージが良くなった(平均が高くなつた)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
5	生徒の規範意識をはぐくむ指導をしている。	3.4	0.3	0.1
	課題・意見			
	自分も意識しているが、他の先生方も意識して行われていると思う。			
	逐一、情報を共有し相談、指示を受けている。			
	職員に周知される前に生徒に伝達し、生徒から新たな情報を聞く場合が多い。			
総括	◎昨年度・前期と比較し、大幅に高い評価を得ることができた。			
改善	◎今後も経営方針や努力点を踏まえて協力的に行う。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
6	会議は、能率的に行われている。	3.5	0.3	0.0
	課題・意見			
	時間的には短くなったが、話し合ったことが生かされていない会議は内容・運営方法を見直す必要がある。			
	必要なことにはじめにかぎってさらっと流されたり、あとで上で検討みたいになっている印象があります。			
	検討事項を含め報告するだけの場になっている。			
総括	◎前期の評価を受け、改善に取り組んだ結果、会議時間を大幅に短縮することができた。そのため、昨年度よりも高い評価を得ることができた。今後はコメントにもあるように、「中身の充実」を課題に「内容の精選」「検討課題の洗い出し」などに取り組んできたい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
16	授業時数管理を適切に行い、年間指導計画を遅滞なく実施している。	3.5	0.3	0.1
	課題・意見			
	行事等で時間割に変更があつても学級ごとの時数にほとんど偏りが見られない。			
	自分の教科は順調に進み、調整できていると思う。			
	総括 ◎昨年度・前期と比較し、大幅に高い評価を得ることができた。			
改善	◎今後も経営方針や努力点を踏まえて協力的に行う。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
22	体験学習は効果的に計画・実施されている。	3.3	0.4	-0.1
	課題・意見			
	各学年で工夫して実施している。			
	コロナ対策をしながら宿泊学習が計画的に実施できた。			
	総括 ◎昨年度・前期と比較し、大幅に高い評価を得ることができた。			
改善	◎今後も感染症対策を講じながら、地域の人材などを効果的に活用しながら体験学習を行っていく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
38	「通信表の二期制から三学期制」への移行は効果を上げている（改善項目④）	3.3	0.4	0.1
	課題・意見			
	混乱もなく移行できている。			
総括	◎昨年度より高い評価を得ている。			
改善	◎今後も引き続き、移行措置を行っていく。			

4 昨年度同期と比べイメージが悪くなった(平均が低くなった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
35	保護者や地域に、学校の教育活動について広報している。	3.0	-0.5	-0.2
	課題・意見			
	学級・学年だより、学校だよりの定期的な発行や、校外行事のときのブログなどにより、発信できている。			
	学級便りを出している。			
	HPが充実していない。			
	定期的な学校だよりなどあればありがたい。			
	ブログ等の更新がされていない。			
	ホームページをもっと活用したい。			
	ホームページが更新されていない。コロナ禍なので保護者や地域の方々が学校に入ることができない時こそ情報発信が必要でないか。			
	ブログが滞っている。校長の学校便りが1号しか出されていない。トップの方針なのかもしれない。			
	コロナの影響で適切に進められずすみません。コロナを考えた課題設定が必要だったと反省しています。			
総括	昨年度よりも-0.5低い数値となっている。保護者や地域に向けた情報を発信していきたい。			
改善	コロナ禍であり、学校への入場が制限されている現状もあるので、HPの更新や学校便りの発行などをして学校の情報を発信していきたい。			

5 改善項目への取り組みの状況

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
18	授業において個に応じたきめ細かな学習指導に取り組んでいる。(改善項目①)	3.0	0.1	0.0
	課題・意見			
	個別対応が必要な生徒が増えていて、頑張っても人的に足りなくなってくる。			
	授業においては、TTや支援員による個別の対応を図ることができている。			
	iPadを使った授業が個々の授業への参加意識を高めていると思う。			
	この理解の状況を把握する努力をおこなってはいるが、個々の学びを能力に応じて満たしているか否かを検証するに至っていない。			
	自分を振り返るとあまり対応しきれてはいないと反省している。			
	授業内ではなかなか難しい。			
	○TTや学習支援員によるフォローで個に応じた学習指導への取り組みで、昨年度より0.1高い数値となっている。			
	○TTの工夫や学習支援員による手厚いフォロー・ICTの活用など、個に応じた学習指導のあり方について継続して研究を進めていきたい。			
総括	○TTや学習支援員によるフォローで個に応じた学習指導への取り組みで、昨年度より0.1高い数値となっている。			
改善	○TTの工夫や学習支援員による手厚いフォロー・ICTの活用など、個に応じた学習指導のあり方について継続して研究を進めていきたい。			

参考資料

生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
7	あなたは、授業で学んだことが身についていると思いますか。	3.2	3.3	
8	先生はわかりやすい授業をしてくれますか。	3.3	3.5	

保護者アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
6	お子さんは、学校の授業がわかりやすいと言っていますか。	2.6	2.6	

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
32	不登校生徒を復帰させる指導、不登校生徒をつくりない指導をしている。(改善項目③)	3.2	0.1	0.0
	課題・意見			
	明るい学級、学年づくりや楽しい授業づくりはもちろん、毎日の家庭への連絡や定期的な家庭訪問等、とても丁寧な対応を行っている。不登校から別室登校、さらに授業に参加できるようになった生徒や、不安を解決して長期欠席にならなかった生徒、進学を目標に学習に意欲を見せるまでに回復した生徒もいる。			
	時代的にもさまざまなケースが増えてきていっぱいいっぱいになっている。			
	家庭や本人と連絡を取り、対応している。			
	努力はしているが、なかなか改善されない。			
総括	◎昨年よりやや高い数値をえることができたが、不登校生徒数は決して少なくない。			
改善	◎担任が家庭訪問して家庭での状況を確認しながら指導を継続してきている。不登校対策会議も定期的に設けられ、対策としてかがやき教室等外部機関との連携を進めて対応を図ってきている。また、SCの利用が進められて効果を上げてきているが、目に見えるほどの成果にはつながらないので継続する必要を感じる。今後も中心に組織的な対応をこころがけ、外部機関とも連携しながら、未然防止・早期発見・対応を心がけていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
43	いじめのない学校づくりができている。(改善項目⑤)	3.4	0.2	0.0
	課題・意見			
	先生方がアンテナを高くし、また、生徒が情報を話してくれる関係ができる。			
総括	◎昨年度より高い数値を得ることができた。しかし、いじめなどの学校にも起こりうるのが「いじめ」という認識の上で対応を図りたい。教師個人として、学校組織としていじめのない学校づくりに取り組んでいきたい。			
改善	◎今後も生徒指導部会、いじめアンケートなどを効果的に活用し、いじめの「未然防止、早期発見、早期対応・支援」ができる組織的な取り組みをこころがけていきたい。			

参考資料 生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
13	いじめのない学校になっていると思いますか。	3.3	3.3	

保護者アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
8	いじめのない学校づくりができると思いますか。	2.8	2.8	

生徒アンケート集計表

全校

令和4年度 華崎東中学校 生徒用アンケート

番号	質問項目	全校			全校			全校			全校			全校			avg.
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	
1	あなたは、学校生活が楽しいですか。	A	170	51.5	B	129	39.1	C	23	7.0	D	8	2.4	330	3.4	3.4	3.3
2	あなたは、本校に入学してよかったですか。	A	189	57.3	B	118	35.8	C	19	5.8	D	4	1.2	330	3.5	3.4	3.4
3	あなたは、困った時に相談できる先生がいますか。	A	103	31.2	B	140	42.4	C	59	17.9	D	28	8.5	330	3.0	2.6	3.0
4	あなたは、困った時に相談できる友達がいますか。	A	236	71.5	B	70	21.2	C	14	4.2	D	10	3.0	330	3.6	3.7	3.7
5	あなたは、クラス(学年)に仲のよい友達がいますか。	A	271	82.1	B	45	13.6	C	12	3.6	D	2	0.6	330	3.8	3.9	3.7
6	あなたのクラスはみんな授業に集中して取り組んでいますか。	A	97	29.4	B	190	57.6	C	40	12.1	D	3	0.9	330	3.2	2.9	3.3
7	あなたは、授業で学んだことが身についていると思いますか。	A	102	30.9	B	182	55.2	C	46	13.9	D	0	0.0	330	3.2	3.1	3.2
8	先生はわかりやすい授業をしてくれますか。	A	121	36.7	B	187	56.7	C	18	5.5	D	4	1.2	330	3.3	3.3	3.4
9	あなたは、授業中、集中して勉強に取り組んでいますか。	A	154	46.7	B	148	44.8	C	25	7.6	D	3	0.9	330	3.4	3.2	3.4
10	あなたは、通信表に表れた学習の成果に納得していますか。	A	120	36.4	B	160	48.5	C	39	11.8	D	11	3.3	330	3.2	3.2	3.2
11	あなたは、家庭で毎日勉強していますか。	A	122	37.0	B	139	42.1	C	55	16.7	D	14	4.2	330	3.1	2.9	3.1
12	先生はあなたを理解してくれているだと思いますか。	A	114	34.5	B	166	50.3	C	35	10.6	D	15	4.5	330	3.1	2.9	3.1
13	CまたはDに〇をつけた人はどんなことがありますがあつたか具体的に書いてください。(今年度内のことであれば、見たり、聞いたりしたことでもかまいません。)	A	147	44.7	B	148	45.0	C	27	8.2	D	7	2.1	329	3.3	3.5	3.3
14	どの先生も同じように生徒に接してくれていると思いますか。	A	138	41.8	B	125	37.9	C	45	13.6	D	22	6.7	330	3.1	3.2	3.1
15	生徒や先生のあいさつはできていますか。	A	178	53.9	B	125	37.9	C	25	7.6	D	2	0.6	330	3.5	3.6	3.4
16	テスト前のレベルアップ学習(は役)に立っていますか。	A	223	67.6	B	80	24.2	C	22	6.7	D	5	1.5	330	3.6	3.6	3.7
17	学校生活にはゆとりがあると感じていますか。	A	130	39.4	B	148	44.8	C	43	13.0	D	9	2.7	330	3.2	3.1	3.2
18	あなたは、学校のきまりや約束を守っていますか。	A	220	66.7	B	98	29.7	C	10	3.0	D	2	0.6	330	3.6	3.4	3.7
19	あなたは、学校からのたよりや通知などを家の人にきちんと渡していますか。	A	202	61.2	B	103	31.2	C	21	6.4	D	4	1.2	330	3.5	3.4	3.6
20	学校内の環境美化はできていますか。	A	181	54.8	B	134	40.6	C	13	3.9	D	2	0.6	330	3.5	3.4	3.5
21	生徒会活動は充実した活動になつていると思いますか。	A	166	50.3	B	137	41.5	C	20	6.1	D	7	2.1	330	3.4	3.4	3.4
22	部活動は充実した活動になつていると思いますか。	A	222	67.3	B	83	25.2	C	13	3.9	D	12	3.6	330	3.6	3.6	3.6

表計集アンケート調査者保護

令和4年度 菊崎東中学校 保護者用アンケート

3. 2以上 2. 7以下

番号	質問項目	全校			全校			全校			全校			全校			avg.		
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
1	お子さんは、学校生活を楽しんでいると思われますか。	A	85	28.1	B	165	54.5	C	34	11.2	D	13	4.3	E	6	2.0	303	3.1	3.1
2	お子さんを本校に入学させてよかったですと思われますか。	A	74	24.4	B	186	61.4	C	17	5.6	D	3	1.0	E	23	7.6	303	3.2	3.2
3	学校の各種たよりから教育活動の様子を知ることができますか。	A	39	12.9	B	217	71.6	C	30	9.9	D	6	2.0	E	11	3.6	303	3.0	3.0
4	学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けていると思われますか。	A	26	8.6	B	201	66.3	C	31	10.2	D	5	1.7	E	40	13.2	303	2.9	3.0
5	授業や行事参観は、子どもや学校の様子を知るよい機会になっていますか。	A	67	22.1	B	189	62.4	C	29	9.6	D	5	1.7	E	13	4.3	303	3.1	3.1
6	お子さんは、学校の授業がわかりやすいと言っていますか。	A	8	2.6	B	139	45.9	C	78	25.7	D	18	5.9	E	60	19.8	303	2.6	2.6
7	お子さんは、家庭で毎日勉強していますか。	A	60	19.8	B	121	39.9	C	82	27.1	D	36	11.9	E	4	1.3	303	2.7	2.6
8	いじめのない学校づくりができると思っていますか。	A	17	5.6	B	158	52.1	C	36	11.9	D	19	6.3	E	73	24.1	303	2.8	2.7
9	どの教師も同じ方針で生徒に接していると思われますか。	A	13	4.3	B	126	41.6	C	52	17.2	D	31	10.2	E	81	26.7	303	2.5	2.6
10	学校内の環境美化はできていると思われますか。	A	79	26.1	B	200	66.0	C	4	1.3	D	0	0.0	E	20	6.6	303	3.3	3.3
11	部活動は充実した活動になっていると思われますか。	A	75	24.8	B	164	54.1	C	24	7.9	D	13	4.3	E	27	8.9	303	3.1	3.1
12	学園祭や合唱発表などの生徒活動は充実していると思われますか。	A	71	23.4	B	196	64.7	C	20	6.6	D	2	0.7	E	14	4.6	303	3.2	3.1
13	教師は、相談や問い合わせに適切に応じていると思われますか。	A	54	17.8	B	195	64.4	C	17	5.6	D	10	3.3	E	27	8.9	303	3.1	3.1
14	通信表は、生徒の様子を知るうえでわかりやすくなっていますか。	A	26	8.6	B	223	73.6	C	35	11.6	D	7	2.3	E	12	4.0	303	2.9	3.0
15	PTA活動には積極的に参加・協力しようと思っていますか。	A	28	9.2	B	202	66.7	C	51	16.8	D	7	2.3	E	15	5.0	303	2.9	2.9
16	学校は、きめ細かな学習指導や評価を行っていると思われますか。	A	17	5.6	B	174	57.4	C	58	19.1	D	6	2.0	E	48	15.8	303	2.8	2.8
17	学校は、豊かな心の育成に成果をあげていると思われますか。	A	15	5.0	B	174	57.4	C	43	14.2	D	12	4.0	E	59	19.5	303	2.8	2.7
18	学校は、学力や意欲を高めるための工夫をしていると思われますか。	A	12	4.0	B	154	50.8	C	63	20.8	D	7	2.3	E	67	22.1	303	2.7	2.8
19	学校は、生活習慣・自主性の育成に成果をあげていると思われますか。	A	15	5.0	B	177	58.4	C	38	12.5	D	11	3.6	E	62	20.5	303	2.8	2.7
20	学校と家庭・地域との連携は成果をあげていると思われますか。	A	8	2.6	B	161	53.1	C	51	16.8	D	11	3.6	E	72	23.8	303	2.7	2.7

『学校関係者評価』

1 学校関係者評価委員会

実施日 令和5年2月9日（木）

評価者 学校評議員（5名）

2 評価内容

- おおむね高い評価を受けているようである。指摘されたところについては真摯に受け止め改善していって欲しい。
- アンケート結果から「教師の指導方針」について不安に感じている様子がみられるが、真摯に受け止め、どの教師も同じ方針で教育活動に取り組んでいけるよう努力していただきたい。
- コロナ禍で生活面や学習面での対応が大変だと思うが、学習面での遅れがないようにするだけでなく、制限のある中でも行事等が充実したものにしてほしい。状況に応じてマスクを外す指導も必要では？
- ジェンダーについていわゆるLGBTの存在があるという。様々な性を自認する生徒もいると思われるので丁寧な対応をお願いしたい。
- 不登校対応について、家庭の問題とも関わっていると思われるが、様々な家庭があるので、学校で目配りをするとともに丁寧な対応をお願いしたい。空き教室を活用したなど工夫が見られる。大変な取り組みであるが継続していってほしい。
- 部活動の地域移行が進んでいる。先生方には専門外の競技でご苦労をかけている現状もある。地域移行に関しては指導者の質が問われることも心配されるが、市当局と細かく調整し子どもの可能性を生かす方向で進めていってほしい。
- コロナ禍で学校を訪れる機会が減っており、保護者は学校生活について知りたいと思っている。学校便りや学級通信の発行をさらに増やしてほしい。
- ヤングケアラーの存在がクローズアップされている。家族の世話が過分になっている場合、学校・行政等連携して支援に当たってほしい。
- 「相談できる先生がいない」という回答数が多いことに対して、対応を考えていただきたい。時間的に難しいとは思うが、先生と一対一で話し合える状況をどうであろうか。改善を求めたい。
- 来年度重点項目について、家庭学習に焦点を当てているが、その対策としてipadの持ち帰りを検討してみてはどうか。家庭でもデジタル端末の活用を図ってほしい。
- 学校への支援について、地域企業からたくさんの寄付を頂いていると聞いた。本当にありがたいことだと思う。

令和5年度 重点項目の設定

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
	授業において個に応じたきめ細かな学習指導に取り組んでいる。(改善項目①)	3.0	0.1	0.0
18	主な課題・意見 個別対応が必要な生徒が増え、人的に足りなくなってくる。iPadの活用、TTや支援員による個別の対応に努めているが授業内ではなかなか難しい。 この理解の状況を把握する努力をおこなってはいるが、個々の学びを能力に応じて満たしているか否かを検証するに至っていない。			
総括	◎TTや学習支援員によるフォローで個に応じた学習指導への取り組みで、昨年度より0.1高い数値となっている。			
改善	◎TTの工夫や学習支援員による手厚いフォロー・ICTの活用など、個に応じた学習指導のあり方について継続して研究を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
	家庭学習を支援する手立てを行っている。(改善項目②)	2.9	0.1	-0.1
26	課題・意見 自習学習ノート指導、テスト取組表などにより、指導が行われている。 自主学習の確認程度で内容の改善に関わる助言などに時間を割くことができない。やらせるだけの自主学を担任がチェックするより、iPadの持ち帰りなどを含め各教科で効果的な家庭学習を指導する方がよいと思う。			
総括	◎前年度より0.1増加した数値、前期より-0.1減少した結果となった。また、生徒の数値は3.1であるが保護者の数値では2.7と家庭内の意識のずれが見られる。そして、どちらも昨年度よりは低い数値を示している。			
改善	◎家庭学習については幼少時からの習慣が大きく影響してくると考える。課題(宿題)の与え方、自主学習の取り組み方法など、発達段階に応じてどのように指導していくかを課題に来年度も継続して取り組んでいきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
	不登校生徒を復帰させる指導、不登校生徒をつくらない指導をしている。(改善項目③)	3.2	0.1	0.0
32	課題・意見 明るい学級、学年づくりや楽しい授業づくりはもちろん、毎日の家庭への連絡や定期的な家庭訪問等、とても丁寧な対応を行っている。不登校から別室登校、さらに授業に参加できるようになった生徒や、不安を解決して長期欠席にならなかつた生徒、進学を目標に学習に意欲を見せるまでに回復した生徒もいる。 時代的にもさまざまなケースが増えてきている。家庭や本人と連絡を取り、対応しているが、なかなか改善されない。			
総括	◎昨年よりやや高い数値をえることができたが、不登校生徒数は決して少なくない。			
改善	◎担任が家庭訪問して家庭での状況を確認しながら指導を継続してきている。不登校対策会議も定期的に設けられ、対策としてかがやき教室等外部機関との連携を進めて対応を図ってきている。また、SCの利用が進められて効果を上げてきているが、目に見えるほどの成果にはつながらないので継続する必要を感じる。今後も不登校担当教師を中心に組織的な対応をこころがけ、外部機関とも連携しながら、未然防止・早期発見・対応を心がけていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
	いじめのない学校づくりができている。(改善項目④)	3.4	0.2	0.0
43	課題・意見 先生方がアンテナを高くし、生徒が情報を話してくれる関係ができている。			
総括	◎昨年度より高い数値を得ることができた。しかし、「いじめはどの学校にも起こりうる」という認識のもと、教師個人として、学校組織としていじめのない学校づくりに取り組んでいきたい。			
改善	◎今後も生徒指導部会、いじめアンケートなどを効果的に活用し、いじめの「未然防止、早期発見、早期対応・支援」ができる組織的な取り組みをこころがけていきたい。			